

熊本県がん患者支援向上対策会議（就労支援対策）について

1 趣旨

本県では、平成23年に20歳から64歳までの3,511人ががんに罹患している。一方、日本の全がんの5年相対生存率は57%で改善傾向にあり、がんの治療を継続しながら就労している方も多くなっている。このような中、就労可能な状態にもかかわらず、復職、就労を継続することが困難なケースも生じており、就労を継続・維持するための情報提供や相談体制の整備等の必要性も高まっている。

また、厚生労働省においても第2期がん対策推進基本計画で「がん患者の就労」を重点課題として位置づけ、「がんとの共生」に力を入れている。

このような状況を踏まえ、本県では、第2期熊本県がん対策推進計画に基づき、がん患者等の就労支援に係る対策を推進するとともに、既存の国の検討状況等を把握し、第3期熊本県がん対策推進計画を見据え、より就労支援を実効性のあるものとするため、就労支援に関する関係機関・団体の委員をメンバーとする会議を新たに設置し、就労支援に係る現在の課題、状況を取りまとめ、具体的な対策及び方向性について意見交換を行う。

2 主な検討事項

- (1) がん患者等の就労支援の課題、現状の把握について
- (2) 今後必要とされる就労支援策の取りまとめ

3 メンバー

別紙のとおり

4 検討スケジュール等

- 8月 第1回会合 現状と課題、方向性確認
- 9月 意見交換及びとりまとめ案作成
- 10月 第2回会合 提言とりまとめ